

野田九条通信

2016年7月 127号

野田・九条の会 事務局
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

7.10 参議院議員選挙

投票に行っても何も変わらない?

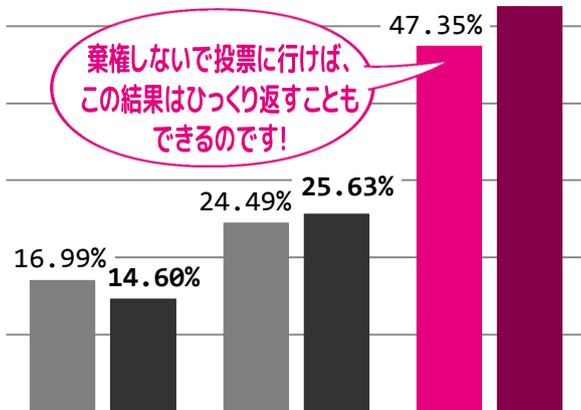
いいえ

投票に行けば変えられるのです!

2014年12月 衆議院議員選挙結果

	全国	野田市
投票率	52.65%	47.53%
有権者数	103,962,784	126,993
棄権者数	49,219,687	66,628

■全国 ■野田市



棄権しないで投票に行けば、この結果はひっくり返すこともできるのです!

〔全国の選挙結果は、「Peace Up 9条可視化」の会〕の資料による

市民の意見が
政党を動かす

今回の選挙に向けて6月15日野党第一党の民進党が「国民との約束」を発表しました。「野党4党」と「市民連合」との間で合意した「安保法制の白紙化」とともに「今回のTPP合意に反対」も盛り込まれました。従来の民主党では違ったはずだが、市民の動きを政党も無視できないのです。

投票に行かなかった人 全国で四、九二万人
自民党に投票した人の二・八倍、野田市では三・六倍! 自民党の得票率は全有権者の一六・九九%(比例代表)にすぎません。

それなのに国会では、憲法学者のほとんどが憲法違反と指摘した「安保法」を強行しさらに憲法改悪に向かうとしています。それも選挙の争点にせず。

アベノミクスは失敗 それでも自民?
アベノミクスはすべて頓

挫し格差と貧困が広がった、誤りは明らかだと指摘されています。私たちの日々の生活実感からもアベノミクスで良くなったものなどありません。

そうは言っても野党に政権担当能力あるのか
どこに入れても同じだから選挙は行かないという人が多かったと思います。今回安保法制への取り組みとして野党が共闘して候補者を絞れたことは新しい取り組みです。それぞれの政党が違いは違として、一致できる

ところで政権を担当するところではできないではないでしょうか。一党独裁政権よりずっと人間らしい政治ができる気がします。

事態はここまで進んでいていけません。今まで棄権していた人が投票することで変えることができるのです。さあ誘い合って投票に行こうよ。

①今月の予定

7月9日(土) 13:30~17:00
野田・九条の会 定例会 人権に関する報道番組を
櫛のホール第2集会室 見て話し合う

7月9日(土) 17:30~18:30
9の日行動 駅頭活動・九条通信配布行動
愛宕駅前 野田九条の会

7月10日(日) 7:00~20:00 投票日
参議院選挙 投票日

7月17日(日) 13:30~16:30
DVD上映とディスカッション
「奥底の悲しみ ~戦後70年、引揚げ者の記憶~」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

7月30日(土) 13:30~16:00
DVD上映とディスカッション
「“非正規65歳”働き続けるには」他
中央公民館講座室 子どもの未来を語る会

最新の情報は野田・九条の会ホームページで
article9nodana.sitemix.jp

〔従来のPC用のサイトに繋がらない場合、こちらのURLをお試しください。〕

九条の眼

安倍さんの 安倍さんによる安倍さんのための…



高校の時英語の授業でリンカーンのゲティスバーグの演説を勉強した。有名なフレーズには続きがあり、特に感銘を受けた。「人民の人民による人民のための政府が地上からなくならないようにすることである」。日本国憲法の前文にはこの部分が引用されているが、むしろわかりやすい文になっている。憲法は翻訳調だとか、押しつけられたとか言われているが、「それが、どうした！」

自民党の草案を見て気になった部分がいくつかある。

“家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として、尊重される。家族は、互いに助け合わなければならない。

まず家族の定義って？家族が助け合うのは当たり前のことのようだが、果たして強制されることだろうか。

現行憲法の前文は翻訳調かもしれないが、その分、文としては明確であり、理念を示している。草案の方は、日本語としても変だし、誰かの意見のようだ。

一億総活躍プランの裏側 同一労働同一賃金はどうなる

これまで永年にわたって労働組合を中心に要求し続けてきたこの課題がなぜ今日まで解決されずにいるのか。それが明らかにならないとこのプランの方向は見えてきません。今でも続いている男女間格差、雇用形態による格差など働く人々の苦しみはもともと雇用者側との利害が一致しないために生じたものです。事実を正しく見ることができれば同じような作業をして、同じような結果を生む労働の報酬は、女性だから、非正規だからということで差別されてよい筈はありません。その労働に費やしたエネルギーは同量ですし、消費されたエネルギーの補充のための費用は同額のはずです。ところがそれを様々の理由をつけて支払わないのは雇用者側です。なぜなら彼らは利益最優先の立場で労働を見ているからです。働く人々のことを考えていないからです。全員に同じ賃金を支払ったら利益が減るからです。

“日本国民は、国と郷土を誇りと気概を持って自ら守り、基本的人権を尊重するとともに、和を尊び、家族や社会全体が互いに助け合って国家を形成する。

本来は国が守るべきものが、国民に転化されている。和を尊びに至っては、始め和風洋風の和？と誤ってしまったが、聖徳太子の方だろう。尊んでいるかの基準はむずかしい。憲法は、諸法規や行政の基準となっていると思うが、こんな曖昧な文章で良いのだろうか？

「固有の文化」、「美しい国土」の文言も見られる。日本文化については、素晴らしいと思ひ、若い頃いろいろ調べたが、多くは大陸や西洋からいろいろなものを取り入れ、独自のより良いものに発展させて来たものだ。その頃書いたレポートの結論部分である。「日本人の役割とは、“日本人”としてではなく、人間として世界に働きかけることではないだろうか。」

藤代 秀子



一億総活躍プランの中で言われている同一労働同一賃金はどうでしょう。アベノミクスでは経済成長のために賃上げが必要と言われています。決して働く人々が安心して生活していくことができる事を保証するものではありません。そこのところをよく考えてみましょう。まして雇用者側が利益の減ることにもろ手を上げて賛成する筈がありません。今後、様々な働き方の変更などが提案されてくると考えられます。残業代0法案などがまたぞろ出てくるでしょう。私たちはしっかりと働く人々の生活を中心にする政治を要求する必要があります。

小林 繁